

本庄市 1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本市では、本庄市教育大綱の基本方針の1つ、確かな学力と自立する力の育成を図るため、「多様な人々と協働しながら、主体的・意欲的に自ら人生を切り拓いていけるよう、確かな学力と自立する力の育成」を目指しています。ICT環境を充実させ、以下のような学びの姿の実現を目指します。

- ①他者と協働しながら、考えを深めることができる姿
- ②課題やめあてを意識し、自らの確かな学力を主体的に身につけようとする姿
- ③ICT環境を活用し、家庭や他教室からでも学びを止めない姿

2. GIGA第1期の総括

本市では1人1台端末を、予備機を含む6,543台を令和3年1月より運用開始しました。

協働学習ツールとドリルツールを導入し、授業での積極的な活用を推進しました。

端末故障が発生した際は予備機を充て、学びの継続への影響を最小限に抑えられるようにしました。

また、端末を活用する際に生じたネットワークに係る問題につきましては、回線種別の変更やネットワークアセスメントの実施等により解決を図っています。

ネットワークの問題については解決に向け着実に進んでおり、GIGA第2期へ向け適切に活用ができるよう環境を整えていきます。

1人1台端末の利用については、各学校において積極的に活用することができました。1人1台端末を利用することによって、音声教材や映像教材、視覚教材を使った学習、インターネットを使った調べ学習、ドリルツールを活用し児童生徒の知識・技能を高めることができました。また、協働学習ツールを使い、児童生徒が他者と積極的に関わりながら考えを深める学習や、発表するための資料を作成する活動を通して、思考力・判断力・表現力を高めることができました。

1人1台端末の活用の頻度や活用の効果を、研修や事例の共有を通じて教師1人1人の活用の頻度や活用の効果を高めていきます。

端末の持ち帰りについては、持ち帰りによる宿題や家庭での有効な活用の情報提供を積極的に行い端末の持ち帰りの推進を行います。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用

- ・それぞれの教師のICT活用スキルに応じて求められるニーズに合わせ、ICT機器の活用に関する研修会を開催し、スキルの向上を図る。
- ・各校で行われる校内授業研究会にICT機器を活用した授業を積極的に行い、市内の教員が積極的に参加できる機会をつくる。
- ・各校の情報教育担当を中心に、個別最適・協働的な学びの充実に向けた具体的なICT機器の活用事例の共有を図っていく。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

- ・協働学習ツールやドリルツールの業者と連携を図り、それぞれのツールの利活用の促進方法の事例提示や具体的な情報機器の活用方法の情報提供を行う。
- ・協働学習ツールやドリルツールの業者と連携を図り、それぞれのツールのスキルに合わせた活用方法の研修を開き、スキルの向上を図る。
- ・「個別最適・協働的な学び」の充実のために、活用事例を一元化してクラウド上で共有する。
- ・リーディングDX指定校の活用事例、生成AIの活用等、先進的な取組事例を各校に展開する。

(3) 児童・生徒の学びの保障

- ・学級ごとの連絡や情報共有のグループを作り、欠席の児童生徒や教室に入れない児童生徒にも学級の様子が伝わるような環境を作る。
- ・欠席の児童生徒や教室に入れない児童生徒がリモートで学級の児童生徒と同じように授業に参加する環境を作る。